

開催月日 令和6年10月20日（土）

開催場所 調布市立第四中学校

令和6年度
調布市立若葉小学校・第四中学校・
図書館若葉分館施設整備PFI事業の
事業概要説明会
(第1部 午後3時開催)

【司会】

それでは、定刻となりましたので、調布市立若葉小学校・第四中学校・図書館若葉分館施設整備PFI事業に関する事業概要説明会を始めさせていただきます。

私は、本日、司会を務めさせていただきます、調布市教育委員会教育部教育総務課の森木と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

開会に当たり、調布市教育委員会教育部教育総務課施設担当課長の関口から御挨拶を申しあげます。

【関口施設担当課長】

皆様、こんにちは。本日は、御多用の中、事業概要説明会に御出席いただきまして誠にありがとうございます。

私は、調布市教育委員会教育部教育総務課施設担当課長の関口と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

図書館若葉分館の移転・改築を含む、若葉小学校と第四中学校の校舎の建替事業に関して、今後、こうした事業を進めることについては3年前の令和3年度に周知をさせていただいているところです。

その後、市では事業の実施規模や、これに係る事業費等について検討・調整を進めてきました。今年の年明けから事業者の選定作業を進め、この度、事業契約締結が整いましたので、まずは契約締結した事業の概要等についてお知らせするために本日の事業概要説明会を開催させていただきました。

この後、説明させていただく事業概要については、既に変更ができない部分も一部ありますが、まずは現時点における状況を説明させていただき、御意見を伺いたいと思っています。

それでは事業概要説明会を始めさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

【司会】

ここからは着座にて失礼いたします。

続きまして、本日の出席者を紹介させていただきます。始めに、市職員です。調布市教育委員会教育部教育総務課施設担当課長の関口です。

同じく、教育総務課施設管理係長の榎本です。

続きまして、図書館主幹兼図書館副館長の海老澤です。

同じく、図書館庶務係施設担当係長の佐藤です。

次に、本事業の事業者です。本事業の代表企業であり、建設工事を担います、青木あすなろ建設株式会社の中原です。

同じく、久保田です。

続きまして、本事業の協力企業であり、設計及び工事監理を担います、株式会社伊藤喜三郎建築研究所の山寺です。

同じく、小島です。

続きまして、本日の配布資料の御確認をお願いいたします。受付時にお配りしております、

A4サイズ縦 両面刷り 1枚の若葉小学校・第四中学校改築だより第5号

A4サイズ横 両面刷り 4枚でホチキス留めしている本事業の提案時の図面以上の2点が、本日の資料となります。資料が不足されている方はいらっしゃいますか。よろしいでしょうか。

続きまして、本日の説明会の流れを説明させていただきます。

まず、この後、市より本事業における、今までの経過などを含む事業概要等を説明いたします。

次に、事業者の方より、本事業の提案内容について御説明いたします。

最後に、皆様からの御質問に対する質疑応答を予定しています。

本説明会の所要時間を概ね1時間30分、終了予定時間を午後4時30分までとさせていただきたいと思います。円滑な進行に御協力いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

続きまして、説明に入る前に、3点お願いがございます。

まず1点目です。本説明会の記録作成のため、音声の録音と写真撮影をさせていただきます。写真撮影については、皆様のお顔が写らないよう十分に配慮いたしますので、御了承いただきますようお願いいたします。

次に2点目です。個人による会場内での写真撮影、録音、録画については御遠慮いただきますようお願いいたします。

最後3点目です。本日の質疑応答の時間内でお伺いしきれなかった御質問については、配布させていただいた改築だよりの裏面の一番下に記載しております、教育総務課まで御連絡いただければと思います。

私からの説明は以上となります。

それでは、教育総務課施設担当課長の関口より、事業概要等の説明をさせていただきます。

【関口施設担当課長】

それでは、事業概要等について説明をさせていただきます。

まず始めに、私の方からは、本事業に関してこれまでの経過を中心に説明をさせていただき、次に、現時点で決まっている事業概要について事業者の方から説明をさせていただきます。

始めに、事業実施に至る経過についてです。「若葉小学校・第四中学校 改築だより第5号」に記載させていただいた内容を中心に説明をさせていただきます。

市教育委員会では、これまで児童数の増加に伴う不足教室対策というものが大きな課題の一つとなっていましたが、児童数の増加数・伸びがあまりにも急激であり、将来的な増加の見込みが本当に読めない状況にあったため、その対策の検討が思うように進まない状況でした。

その一方で、毎年4月には新一年生が入学してくるため教室の確保は絶対でありましたので、令和2年度には校庭を潰して仮設校舎を建築するという苦渋の決断に至ったところです。

また、若葉小学校が抱える課題として、もう一つ、校舎の老朽化も非常に大きな課題となっていました。

若葉小学校の既存の校舎ですが、事務室や職員用玄関がある給食室側の校舎は昭和30年代半ばに、市内の公立学校で始めて建設された鉄筋コンクリート造の校舎です。このため、現在では、築後約65年が経過している状況であり、校舎の建替の検討も同時に進めなければならない状況が背景としてありました。

最終的には、第四中学校の校舎の建替えも同時に実施するという判断に至り、あわせて小学校の敷地に隣接する図書館若葉分館の移転・改築を実施することとし、これが令和2年度末の状況でした。

このため、令和3年度には、建替えに向けた検討委員会を設立し、はじめに基本構想というものを策定しました。この時点で、今後、校舎の建替えを進めていくことについて、地域の皆様や、保護者の皆様に情報提供・周知し現在に至っております。

令和4年度以降についてですが、この間は、行政内での検討や準備を進めてきた期間となり、実際に実施する事業の規模を「これくらいにしよう」ですか「これくらいの事業費で実施しよう」といった、検討や調整を進めてきました。新しい校舎にどういう内容を盛り込むのか、どのくらいの大きさの校舎を建築するのか、そして総事業費はどのくらいにするのかといったやり取りを行っていました。理想を追求すると、建物や新校舎の規模はだんだん大きくなり、事業費は雪だるま式に膨らみます。一方で、予算には限界があるので事業費は圧縮しなければならない。このため、事業規模と事業費の予算の折合いをどこでつけるか、妥協するかということに非常に時間を費やし、結果、約1年半程度を要したということです。

そして、事業規模や事業費が固まった段階で、実際に設計と工事を実施していただく事業者を決める準備を進めました。

事業者を決めるまでの経過については、昨年の暮れ令和5年12月28日に

入札公告・入札説明書等を公表し、入札の手続きを開始しました。

その後の経過については、資料に記載のとおりとなります。まずは、入札参加の申込みがあった事業者からの提案について最優秀提案を決める作業を行い、最優秀提案が決定したのは7月6日となります。

その後、落札者の決定・事業契約締結に向けた作業を行い、先月、開会された令和6年第3回調布市議会定例会において特定事業契約締結についての議案が可決され、9月25日付けで正式に事業契約締結が整ったというのが現時点での状況となっています。

市と契約締結を行った事業者は「PFI調布小・中学校図書館施設整備株式会社」です。この会社は、特別目的会社・SPCと呼ばれる会社となりまして、本PFI事業を実施するために、一覧表に記載の代表企業と構成企業により市内に設置された会社となります。

なお、本事業は一覧表に記載の企業が主体となって実施していきます。代表企業を務める青木あすなろ建設株式会社が中心となり、構成企業が3社、協力企業が4社、計8社で構成されたコンソーシアムにより事業を実施していきます。

次に、今後のスケジュールについてですが、事業者との契約締結が整い、基本設計・実施設計に着手した段階ですので、現時点がこの位置となります。

これから、約1年程度をかけまして設計を完了させ、工事着手という流れになりますので、これから約1年後がこの位置となります。

新校舎を建設するための工事期間については、現時点で2年程度を想定しているため、これから約3年後に新校舎を完成させることを目標に、市と事業者が一体となって事業を進めていく予定となっています。

新校舎の供用が開始しますと、今度は、既存の小・中学校の校舎をほぼ同時に解体し、跡地を校庭に整備する外構工事を実施する予定となっておりまして、工事関係につきましては令和10年中に概ね完了するようなスケジュールとなっております。

工事に関するスケジュールについては、後ほど事業者の方から補足説明をさせていただきますのでよろしくお願いします。

なお、新校舎の本格的な工事着手はこれから約1年後ですが、そこに向けて先行して実施する工事があります。

まずは今年度、これからになりますが、中学校の校舎と校庭の間に、中庭と言いますか、樹木を植えている植栽帯がありますが、その箇所をグラウンドの仕様に変える工事をこれから実施します。

また、来年度には、中学校のプールの解体工事も先行して実施する予定となっています。

このため、これから、約5年間が実質的な工事期間となりますので、近隣住民の皆様や保護者の皆様には、長期間御迷惑をお掛けすることとなります、御理解と御協力をお願いしたいと思っていますのでよろしくお願ひいたします。

改築だよりの裏面を御覧ください。事業者からの提案資料を一部掲載しておりますが、この後の説明の資料とも一部重複するものもありますが、市ホームページの方にはこれ以外の資料も公表させていただいております。

本日、御用意した資料は白黒刷りの印刷物となります、カラーのものがホームページの方に掲載しておりますので、後ほど御覧いただけたらと思います。

掲載場所については、QRコードを読み込んで入っていただくと「学校の改築（市立若葉小学校・第四中学校）」に飛びます。そこから「事業実施に向けた取組」、続いて「（10月15日更新）若葉小学校・第四中学校改築だより」と順に入っていただき、「（議案第82号に関する資料）調布市立若葉小学校・第四中学校・図書館若葉分館に係る特定事業契約図面」をクリックしていただくと閲覧できるようになっています。ここに掲載しているものが、現時点で公表できる全てのものとなります。

この後、提案された事業概要の説明をさせていただきますが、基本的には提案された事業概要がベースとなって今後の事業が展開していくこととなります。

このため、このような提案内容を市は採用しましたということについて、市民の皆様に速やかに情報的提供する場として本日の事業概要説明会を開催させていただくこととしました。

ここで、最初にお断りをさせていただければならないことがあります。それは、これから説明させていただく提案された事業概要について、一部、既に変更ができない部分があるということです。それは、建物の規模や配置についてであり、変更がほぼできない状況にあることを御承知おきください。

しかし、建物の中の教室の配置等については、我々としても、まだプランの変更をお願いしなければならないことはいくつかありますので、今、まさにその協議を事業者と始めた矢先という状況で、最終的な校舎内の各階の平面プランについてはこれから決定されるという状況です。

したがいまして、この後、質疑の時間を設けさせていただきますが、御意見や御要望のいただいた内容によっては、既に対応ができない場合がありますので、そのような内容については大変恐縮ではございますが、対応できませんという通り一片のお答えとなってしまう場合がありますことを御承知いただくとともに、御理解をお願いしたいと思います。

また、検討を要す内容については、この場でできる・できないの判断が難しいので、いったん持ち帰らせていただいた上で検討するということで御了承をお願いしたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

最後に、これまでの間、市からの情報提供が少なすぎるのではないかと考えている方もいらっしゃるのではないかと思っています。正直に申しあげまして、公に公表できる内容がほぼなかったというのが実情です。一例で申しあげますと、当初、我々が考えたプランでは5階建てを想定していたところです。しかし、実際に今後建築する校舎は4階建てです。

これは、事業者の選定を、価格と事業内容で決定するコンペ形式にしたため、事業者側では4階建てで建築する方がよい提案であると判断し、プランを提案してきました。そして、審査委員会において4階建てのプランがよりよいと判断をしたということになります。

このように、これまで市が持っていた情報というのは、想定の域の話であり、決定事項ではない状況でありましたので、不確定な情報を出すことにより誤解が生じたり、また、その情報が、違う方向にひとり歩きしてしまうことは避けなければならないので、我々としても、確実な情報としてお出しできる情報がなかったというのが実態ですので、この点についても御理解をいただきたいと思います。

それでは、引き続き、提案された事業概要につきまして、事業者の方から説明をさせていただきます。

【司会】

続きまして、事業者の方より、本事業の提案内容について御説明させていただきます。

伊藤喜三郎建築研究所の山寺からは提案プランについて、青木あすなろ建設の久保田からは工事計画について、それぞれ御説明させていただきます。

【事業者説明（伊藤喜三郎建築研究所）】

それでは、提案しました事業概要について説明をさせていただきます。

先ほど、市から説明がありましたとおり、今回の入札に関しましては、価格と内容によるコンペ方式でありましたので、我々のチームとしましては市から求められている要求水準書を熟考し、検討に検討を重ね、プランを提案させていただきました。

提案書の提出まで限りある時間の中での作業でしたが、ベストの提案ができたと思っており、最終的に我々が提案したプランを採用していただきました。

それでは説明に移らさせていただきます。こちらの資料を御覧ください。

まずは配置図です。少し見にくい箇所があるかと思いますが、お手元の資料とあわせて御確認いただければと思います。

現小学校の敷地に中学校の校庭を、現中学校の敷地に小・中学校の新校舎と

小学校校庭、図書館若葉分館を建設します。

建物の位置については、校舎が完成してから既存校舎を解体するため、現中学校の校庭に建設します。

建物と道路の間には常緑樹を中心とした緑地帯を設けます。図書館若葉分館の前は憩いの広場とし、地域の方々に開放します。

少し見にくいくらいですが、赤い三角形の記載が出入口となります。歩車分離を行い安全性に配慮します。児童・生徒は仮称若葉ストリートに面した昇降口からアクセスします。

体育館は、既存体育館、1階の小学校体育館、3階の中学校体育館があり、地域開放を行います。また、災害時には避難所施設にもなる想定です。

校庭は表土飛散防止対策としてグリーンダスト舗装を行い、周囲には防砂ネットや防球ネット、フェンスを設置します。

道路に歩道の無い部分、図面で言うと小学校教室群の東側には、（仮称）若葉ストリートまでの通学を安全に行えるよう敷地内に歩道を整備する予定です。

建物は4階建ての鉄筋コンクリート造一部鉄骨造です。先ほど説明にありましたとおり、5階建てではなく、4階建てとしました。近隣様への配慮として、なるべく建物高さを抑える計画とし、また、児童・生徒、教職員の利用動線を考慮した結果です。

それでは各階の説明です。1階です。

先ほど説明しました、中央の（仮称）若葉ストリートのところに昇降口がございます。こちらから児童・生徒はアクセスします。

小学校の体育館は緑色で表されている箇所となります。メディアセンターと呼ばれる学校の図書館を設置し、隣に若葉分館、図書館を設置します。

左上のピンクの部分は管理諸室になります。そして左下のオレンジ色の部分が特別支援教室の位置になります。

次に2階です。図面の上側が中学校の教室群、図面の下側が小学校の教室群です。それぞれ、オレンジ色で着色されているところが、中学校の普通教室と小学校の普通教室になります。

また、水色で表されているところがそれぞれの特別教室になっています。

緑色が小学校の体育館の上部になります。

3階です。2階と同様に中学校エリア、小学校エリアに分かれています。

体育館は3階から上が中学校の体育館となります。

4階です。4階も同様の構成となっております。新しい学びの教室という教室を各階に分散して設置させていただいております。

また、緑色のところが中学校の体育館の上部になります。

4階はテラス等の配置もございます。

南側から見た透視図です。手前の道路を挟んだ向かいの建物からは、学校建物まで約20メートルの距離があります。

建物は大きなボリュームができるだけ分割し、威圧感を軽減しています。

バルコニーは細かく手摺の表情を変え、リズムを付けることで、楽しく明るいイメージにしています。

外壁の色は、地域に溶け込む柔らかい配色とします。

東側から見た透視図です。図書館若葉分館と広場が手前に見えます。広く地域を開くために、図書館エリアについてはフェンスを設けません。緑の多い、地域の憩いの場になるよう計画します。

北側から見た透視図です。左に体育館と右に特別教室の窓が見えています。少し見にくいくらいですが、左の半透明な部分は既存の体育館となります。校庭は先ほど説明しましたとおり、グリーンダスト舗装、防砂・防球ネットを設置します。詳細な場所は未定ですが、PR・展示スペースを設け告知や展示を行います。右下の方に見えるのがそれにあたります。

続きまして、図書館の平面ゾーニングプランです。現在、図書館と協議中ですでの、あくまでも現時点でのイメージとなります。

まず、上の赤い三角形がメインの出入口となります。出入口を入ってすぐ右側におはなし室、ピンクの部分に児童エリア、薄い黄緑の部分が一般エリアとなります。一番右側に見えるYAエリアと書いてあるところがヤング・アダルトのコーナーとなります。

濃いピンクのところが事務エリアとなります。濃い緑の部分がトイレとなります。

外側にオレンジ色で記載されていますここがテラスエリアになります、外で本を読めるようなエリアになっております。

以上で建物のゾーニングプランの話を終わります。

【事業者（青木あすなろ建設）】

続きまして、工事の実施に際して、どのようなステップを踏んで工事を進めていくのか、主に工事の安全対策について御説明したいと思います。

工事は大きく4つのステップに分けさせていただきました。画面に映っておりますのが前半のステップ1、ステップ2。次のページがステップ3、ステップ4。こちらの4つに分けさせていただきました。

最初に、全てのステップに共通する事項・安全対策を中心に御説明させていただきます。

近隣道路を含めて、工事関係車両は全て徐行運転をするとともに、現場周辺

には工事車両が停車することはございません。

また、工事中は場内散水養生を行い、粉塵の防止を図るとともに、退場車両のタイヤ洗浄を徹底しまして、周辺の道路汚損に配慮いたします。

また、振動防止につきましては、場内走行時は特に注意し、騒音や粉塵飛散防止に配慮いたします。

解体工事におきましては、低騒音型重機の使用いたします。打撃ではなく油圧による破碎機を使用し、騒音の低減・抑制を図ります。

このほか、工事の状況に応じた防音シートを設置し、騒音抑制及び資材・粉塵の飛散防止を図ります。

それではステップ1、仮設工事とプールの解体工事から御説明いたします。

仮設工事ですが、最小限のエリアで解体工事並びに現場に必要な仮事務所等の建設を南側の方で行います。解体時は出入口の管理の安全対策に万全を期します。基本的に南側の1箇所の出入口のみを設定しまして、そちらを使用する計画としております。

続きまして、右側のステップ2です。こちらは新校舎の新築工事がメインの工事でございます。この時は、中学校のグラウンドを最大限確保できるように工事エリアを設定しております。右側のピンクのところにおきまして、できるだけグラウンドを残せるように配慮させていただきたいと思っております。

工事車両、特に大型重機の搬出入への配慮としまして、交通誘導員を必要に応じて人数を増員して配置し、安全に最大限配慮いたします。

続きまして、次のページをお願いいたします。ステップ3です。こちらは新校舎の利用開始後となります。

南側にあります新校舎と書かれているところに新校舎の形が示されています。新校舎のグラウンドと元小学校グラウンドをこの間に使用できるようになります。

既存の校舎、丁度真ん中のピンクのところになりますが、こちらの解体を行っていきます。解体の最後に必要に応じて、高さ3メートルの仮囲いを設置しますが、その上に防音シートを設置し二重の対策で騒音を防止し、粉塵も抑制するように図りたいと思います。

最後にステップ4です。こちらグラウンドの整備工事です。

新校舎のグラウンド、画面で見ますと真ん中の下の方、ピンクのところになりますが、こちらをできるだけ早く完成させ、新しい校舎とともに使用できるように配慮し、先行して工事を行います。あわせて、画面の北側の若葉小学校側のグラウンド整備と給食室の改修工事を実施いたします。

説明が前後しますが、もう一度ステップごとの内容を改めたいと思います。

まず、ステップ1は仮設工事と中学校のプール解体工事となります。

続いて、右側のステップ2で新校舎等の建設を行います。

次のページです。ステップ3につきまして、新校舎の使用を開始するとともに、小中学校の解体工事並びに小学校のプール・校舎の改修、中学校の体育館の改修工事を行います。

最後、ステップ4でメイン及びサブグラウンドの整備工事並びに既存の給食室の改修工事という4つのステップになります。

工事期間の説明となりますと、ステップ1の工事期間が令和7年8月から令和7年11月を予定しております。

ステップ2、新校舎の建築については、令和7年12月から令和9年12月となります。

ステップ3ですが、新校舎使用開始は令和10年1月から工事を進めまして、ステップ3の工事は令和10年7月まで。

最後のステップ4については、令和10年7月から令和12年12月を予定しております。前後しまして申し訳ありませんでした。

最後になりますが、改めて工事全般としまして、安全への配慮事項を御説明します。

今回の工事は学校の敷地内と住宅街での工事となりますので、騒音・振動の少なくなる破碎機、先ほども申しましたが、ダダダという打撃ではなく、ガシガシと握り潰すような、そのような重機を主に使用したいと思います。

また、大型重機類の操作・場内での移動時には、低速で移動するように配慮し、振動だけでなく騒音も低くなるようにしたいと思います。

このほか、登校時には工事車両の通行を制限します。工事車両が出現する、場内から出てくる際には、出口のところにセンサーを設置し、センサーの感知とともに回転灯を連動させて、交通誘導員とともに、歩行者への注意喚起を行います。

作業の時間は原則として月曜日から金曜日までの8時から18時とします。学校行事や工事の進捗により、市や学校と随時協議させていただきますとともに、場合によっては工事の休工対応などを含めて柔軟に対応させていただきたいと思っております。

以上が工事の説明となります。ありがとうございます。

【司会】

続きまして、質疑応答に移ります。質疑応答に当たり、2点お願いがございます。

まず1点目です。御質問のある方は、手を挙げていただきまして、私が御質問者を指名させていただきます。係の者がマイクをお持ちしますので、マイク

がお手元に届いてから御発言していただきますようお願ひいたします。

次に2点目です。御発言の際には、最初に「若葉町1丁目の森木です。若葉小学校の保護者です。」といったように、お住いの町名と丁番とあわせて、お名前を支障のない限りで結構ですのでお伝えください。また、学校の保護者の方は、学校名もあわせてお伝えいただきますよう、お願ひいたします。

なお、質問者が多い場合には、終了予定時間である午後4時30分を目途に一旦打ち切り、残りの質問者の人数を確認した上で、時間の延長を決めさせていただきますのであらかじめ御了承ください。

それでは、御質問のある方は、挙手でお願いします。

【入間町1丁目○○】

入間町1丁目に住んでいます若葉小学校の保護者○○と申します。

スケジュールの中でステップ3の新校舎の使用と旧校舎の解体というのが令和10年1月から開始と書かれているのですが、一方で概要資料の今後のスケジュールには供用開始が令和9年度の夏頃のように見えるのですが、その整合を教えていただきたいと思います。いつから使い始めるかということです。

【関口施設担当課長】

まず、新校舎の完成時期は令和9年の年末まで、12月までに完成させて、令和10年1月の3学期から新校舎の供用開始をしたいと思っております。お示ししたスケジュールでは真ん中位になっているのですが、実際には新校舎の供用開始を今の想定では3学期を想定しているところです。

【入間町1丁目○○】

そうすると、供用開始のグラフは少し違うなということですか。もっと遅いというか。今日配られている1枚目というか。

【関口施設担当課長】

年度表記をしている関係なのですが、4月から3月までの年度で表記をしている関係でそういう形になっています。年度で言いますと4月から3月のため、後ろのほうの表記になっています。

【入間町1丁目○○】

令和9年度の3学期から使い始めるということですね。ありがとうございます。

【司会】

次にお隣の方。

【若葉町3丁目〇〇】

若葉町3丁目に住んでいます、〇〇と申します。

市役所の方と事業者さんの方にお願いというか、聞きたいことがあるのですが、まず事業者さんについては、先ほど騒音について対策を色々としていただけるということで、ニブラーとかを使って壊していくということで騒音対策をしていただかくということはよく分かりました。

どなたかの話で防音シートの話があったかと思うのですが、基本的に防音壁をしていただかくとかそういういた検討があるのかないのか。全周、通常、これくらいの規模なら当然それもあるのかなと思うのですが、当然、学校がある中で、そこはちょっと計画した時点でお聞きしたいなと思っています。今日じゃなくでも良いので、工事までにそのあたりをしっかり認識していただけたら。

あとは、周辺の交通規制とか、先ほど作業者の話はあったのですが、一般的我々において何かしら規制がかかるのかどうか、こちらへんは事前にわかるのであればビラ等で周知していただかく、そのへんを徹底していただければと思っております。

そして市役所の方については、工事について反対とかでは全くないのですが、先ほどおっしゃっていた事業計画が去年だったかと思うのですが、それから特に説明会はなかったような気がしますが、特に変更がなかったから皆さんにお知らせするものはありませんでしたということだとは思いますが、5階建てが4階建てになっているということは、それなりに面積が広がっていると思います。我々、私が住んでいるのは西側の方ですが、今回、西側のパース図もなく、実際に今ある建物との距離感とかもつかめない資料になって、景色がかなり変わるエリアにいますので、当然、建物が近くなるのかは我々にとっては、特に事前に説明がなかったのは大変遺憾に思います。そういうふうに言われてしまうと住んでいる人間としては、学校建てることに反対ではないですが、日常の景色が変わるので、そこが去年の説明と違うのであれば1回説明を挟んで欲しかったし、そのあたり訂正等お願いしたいし、そのあたりどうお考えなのかをお聞かせ願いたい。

そして、後ほどのお願いですが、今住んでいるエリアからどういった、景色が変わのかどうか、パース図を要求したいのでそのあたりを公開していただきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

この資料ではメートルとかも入っていませんし、縮尺も分からず、スケールも分からずなので、距離感も分からずで判断できないのでお願いしたい

と思います。以上です。

【関口施設担当課長】

まず市側の方からお答えさせていただきます。一部説明が足らなかつたところがありました。

従来の工事発注というのは設計を完了させて、設計ができたものを建設事業者さんにお願いするというのが従来の公共工事の発注方法でした。しかし、今回は、設計と施工を一括でやることになります。従来の方法では設計の段階では工事側の意見とかが反映されない手法だったのですが、今回のように設計と施工を一括にすることによって設計の段階から、実際に工事を進める立場の意見を反映させながら設計を進めるという手法をとりました。

この関係で、従来のように設計作業が実際にはこれからなので、その点によってお出しできる情報がなかつたという状況です。これは従来の方法が良いのか、今回のような手法が良いのかという点では、メリット・デメリットがある状況の中では、今回のように事業規模の大きいものでは、やはりコスト面でもメリットがあると判断して今回の手法を取らせていただきました。

そのため、実際には細かいところが決まっている状況ではなかつたので、実際には、今回提案していただいた事業者がこの後進めていくということになつたため、情報提供ができなかつたという、先ほどの説明では省いてしまつたが、その点について御理解いただければと思います。

【事業者（青木あすなろ建設）】

解体時の養生についての御質問だったかと思いますが、先ほど私の説明が不足してしまつて申し訳ありません。

外周仮囲いの3メートル。こちらは設置します。また、既存建物解体時は当然足場を設置しますので、足場に防音パネルを設置しまして、破片等、十分住宅に配慮したいと思います。以上です。

【森木副主幹】

最後に、景観が変わるものではないかという点においてのパース図につきましては、作成の話もありますので今後検討させてください。以上です。

【若葉町3丁目○○】

距離感とか確認できるような資料とかは作成できないのでしょうか。

【森木副主幹】

それは可能ですので、作成出来次第公表という形を取らせていただきたいと思います。

【若葉町3丁目○○】

それはホームページとかで公表ですか。何か教えていただけたりしますか。

【関口施設担当課長】

この後も色々な御質問をいただくかと思います。それについては回答しなければならないと考えておりますので、その回答方法についてはまたこのように対面でやるのか、改築だよりを通じてこういう回答しましたよとするのか考えておりますので、周知方法については検討させてください。

【司会】

続きまして御質問のある方。どうぞ。

【若葉町2丁目○○】

若葉町2丁目で、孫が2丁目から通うことになるのですが、今回体育館とか校舎とか立派なものができるのですが、周辺の道路整備の話が全くでていないのですが。御存知のように非常に歩道が狭いです。2丁目から通うとなるとかなり遠いのですが、そのへんの道路整備とか。

あと、小学校から中学校へ移動する際の、いわゆる渡り廊下、そのへんが計画に入っていないか、そのへんだけお伺いしたいのですが。どうやって校庭に移動するのか。道路を挟んで。そのへんをちょっとお伺いしたいなど。

【関口施設担当課長】

建物と校舎ができたあとの運用方法については、今の中学校敷地側を小学校の校庭とし、今の若葉小学校の方の校舎を解体した場合には中学校エリアとして使用するとして、今とは逆転するようなことを考えております。

当然、中学生の方は道路を渡って隣のグラウンドに行かなければならぬことになるのですが、そこには警察との協議にはなりますが、横断歩道の設置や門のところに交通誘導員を配置するような形をこれから検討していきたいと思っております。そういう形で安全管理を考えている状況であります。

【榎本係長】

第四中学校と若葉小学校の間の通りについて、今、御指摘いただいたとおり歩道が狭いということは教育委員会でも懸念事項として考えておりまして、学

校の敷地からおおよそ2メートルくらいを歩道状空地として歩道を拡幅する計画で考えております。詳細な部分については、これから事業者とも協議しながら進めていく形ではありますが、現状よりは広くしないと危険という認識で進めていく予定です。

【若葉町2丁目〇〇】

現状だと、あおば学童クラブが歩道ぎりぎりになっているのですよね。そして、図面を見るとそれを解体するような話になつてないのですが、どこへ広げるのですか。現実、これをへこませないと歩道は全く広がらないと思います。

【榎本係長】

現状ですと、どうしてもあおば学童クラブの敷地は今回の対象敷地とできなかつたという背景がありまして、ここのおおば学童クラブに関しましては、今の段階ではセットバックは難しいだらうと考えております。そこについては、敷地の歩道状空地としてできない部分が残つてしまうかなと考えております。

【関口施設担当課長】

少し補足説明をさせていただきますと、今回の事業の設定があくまでも学校敷地となつてゐる状況で…

【若葉町2丁目〇〇】

分かります。分かるのだけど、それは当たり前の話で、そうではなくて通う側のことも考えているのかという質問をしているだけで、今の回答だと学校ができればいいでしょうっていう話になつちやいますよ。そうじやなくて、通う側の生徒とか、そのへんの通いやすいような環境というのはちゃんと考えられているのかというお話で、今の回答だと全く考えていませんという回答でよろしいですか。

【関口施設担当課長】

そういうことではなく、事業としては…

【若葉町2丁目〇〇】

そのへんの事業も、そのへんまで考えて予算を取つていただけると周辺住民が非常に喜ぶじゃないですかという話をしているので、事業がこれだけしかないから、これでしかやりませんと話だったら誰でもできます。そうじやなく

て、通う側も道が非常に狭いので、住民はみんな知っていますよ。そこをちゃんとと考えながら今回の計画をされているのですかという質問をしているので、事業がこれだけという話なら誰でも回答できます。そうじゃなくてということです。

【関口施設担当課長】

現時点では、切り上げている状況ではありますが、最終的な完成図の段階では…

【若葉町2丁目男性】

同じ話をされても困るんだよ。

道路をね、子ども達が歩きやすいように、じゃあ、要望として広い歩道をつくるような形で、まだ時間があるので計画をしてくださいという要望に変えます。

【司会】

それでは、次の方。

【若葉町3丁目○○】

若葉町3丁目の○○です。先ほどの方もおっしゃっていたように、通学路の歩道ですよね。ほんとうに狭いです。それで今もヒビだらけです。そういったら違うと言われてしまうかもしれないけど、どうかと思いますね。通学路なのに。

あともうひとつ確認したいのですけども、正門。子ども達が入ってくる門については位置が変わりますよね。この配置図だと公園の前が正門になりますか。小学生達の。若葉ストリートというのが、公園の前、位置が変わりますよね、正門。

【森木副主幹】

はい、そうです。

【若葉町3丁目○○】

ですよね。水没するの分かっていますか、あそこ。水没しますよ。

【森木副主幹】

浸水地域ということですね。

【若葉町3丁目女性】

そうです。ゲリラ豪雨が降ると水没しますよ。セットバックして通学路を確保するとおっしゃっていましたけど、これから先、避難所になるんですよ。水が溜まっているところを避難してこいってことですか。だから、それだったらいいですよ、そういう風にするんだったら。そしたら、横断側溝とかもないですよね。

うち、主人が散々、それで中学校、市役所の方に抗議をしたんですけども、横断側溝は、私は、野球場の前の△△に住んでいるんですけども、●●でいただいた図面を見ると横断側溝が描かれているんです。でも実際問題として横断側溝はないです。それで主人が色々調べたところ●●が潰したか、調布市が潰したか、道路台帳まで確認しようとしていたんですけど去年亡くなってしまったので、その続きの調査っていうのができなかったんですけども。そこを校門にするのであれば道路の整備というのをちゃんとやって欲しいんです。

あと通学路ですよね。私、前、目黒に住んでいたんですけど、学校の周りであんなに汚い通学路はないです。通学路の整備というのももう少しちゃんと考えてください。子ども達が通う場所です。

もしあれでしたら画像も持っていますので、お見せできますから。

【森木副主幹】

そうしましたら、後ほどお見せいただく形を取らせてください。

今後の道路の整備につきましては、実際の道路の拡幅工事等も予定しておりますので、それにあわせて工事等は行っていく予定でございますので、そちらで整備については見ていただければと思います。以上です。

【司会】

続きまして、御質問のある方は。それでは真ん中の方。

【若葉町1丁目○○】

若葉町1丁目に住んでいます○○と申します。

現在、第四中学校と若葉小学校に子どもが通っていて、これから通う子どももおります。

何点か質問があって、ここでちょっとお聞きしていい内容かも分からんんですけども、まず第一に、工事期間中のグラウンドの使用方法についてどのようにになっているのかちょっと分からなかったことと、プールは既存のプールをその後も使用していくことになるのか。この改修工事のお話が出てきたとき

に、プールを一般に開放することになるというようなお話を前にあったかと思うのですがその点がどうなっているのかなということ。

完成後の中学校の校庭ですが、今の計画図を見ると駐車場が無いのかなということが気になりました。

出入口についても、西側には全然ないのでもう少し増えるといいのかなと思いました。以上になります。

【関口施設担当課長】

まず工事期間中のグラウンドについての質問に対してですが、学校という施設の建替えですので、学校経営をやりながら建替えなければならないということで、我々は中学校の敷地を活用して、そこに、校庭に校舎を建てるという判断をさせていただきました。その際に、できるだけ工事期間中のグラウンドのスペースの確保を目指していたところなのですが、正直影響がある状況の中では、新校舎と既存校舎の間を少し、できる限り確保するような状況になっています。

それから、これは今後の話ですが、残っている屋外のどこかを活用するとなると屋上や地下になると思うので、屋上を使って少し身体を動かすようなことも検討中です。制限があることについては、御理解をいただくしかないと思いますので、この限られたスペースの中でどういう活用ができるかというところでは、教育委員会としても最大限配慮したいと思っております。

それからプールについてですが、当初はプールの整備も含めて検討が必要だという状況にあったのですが、まず、ここの学校のプールということではなく、公立学校のプールは老朽化が発生していて、どうしてもプールの維持費にすごいお金がかかっている。なのに夏場の一定期間しか使えない。ここに近年については、猛暑の影響で、私が子どもの頃は暑くなれば夏は入れたのが、今は暑すぎて入れないという状態です。ほとんど曇りでないと入れないという状況になると、言い方はあれですがコストパフォーマンスが非常に悪い施設になっているので、そもそも今までのような屋外プールで学校授業をやるのがよいのかというところが今の課題になっています。

そんなところで今年試行的にやらせていただいたのが、若葉小学校の5・6年生を調和小学校の方で授業を行っています。今お話しした、やはり屋内プールを使って確実に授業ができるような仕組みをつくるということで考えている状況のため、我々の方もたまたま調和小学校に屋内プールがありますので、そういうところを活用しながら、という検討している状況です。少なくとも施工期間中、中学校のプールは解体しますので中学生のプールの場所がないという状況になるため、今は暫定的に若葉小学校のプールは残すということを考え

て、そこを使ってやるか、調和小学校の方に行って、夏ではなく年間のどこかでやることも考えております。最終的に屋外のプールでやるかというのは今後の状況になるのですが、今、試行的にやっている若葉小のプールについてはそれなりに効果が出ていますので、そういったところを考えている状況でありますので、プールの在り方については今後状況が変わってくる可能性があるということを御承知おきいただければと思います。

校庭整備に絡んで、小学校敷地に駐車場がない、出入口がないということについては検討していきたいと思います。以上です。

【司会】

それでは、次に真ん中の後ろのかた。

【入間町○○】

入間町に住んでいます○○といいます。息子が若葉小に通っております。

図書館の関係でいくつかお伺いしたいんですが、今、若葉分館は小学校・中学校とは別のところにあって、うちの子とかも利用しているんですけども、今度は小学校と中学校と同じ敷地の中に一般の図書館ができるということで、色々な方が、一般の方も同じ敷地の中を出入りすることになろうかと思うんですね。

そして、この図面を見ると、ちょっとよく分からんんですけども、学校の建物との区切りですか、あるいは敷地の中で学校の方に図書館利用者が入ってしまうようなスペースがあるのかどうか。もしそうだとすると、色々最近変な事件がありますけども、不審者が入り込んで、学校の敷地に上がり込んで、ある事件が起きたということがありますけども、果たしてそのへんの図書館、特に学校の関係での安全対策ですか、構造上の安全対策、そういうことがあれば、どうされる予定なのかお聞きしたいと思います。

【事業者（伊藤喜三郎）】

図面が少し見にくい部分があつて申し訳ないです。図書館エリアと学校の敷地エリアに関しては、3メートル程度の高いフェンスで区割りをしようと思っております。ちょっとパースでは見にくいのですが、テラスのところの左側、それから駐車場側の南のところ、そこまでフェンスで囲っていて、そこまでが図書館エリアとなっています。それ以外のところは学校エリアとなっていまして、セキュリティに関して、そこはしっかりと分けさせていただこうと思っています。

あとは、内部に関してですが、現在、若葉分館の図書館と学校メディアセン

ターは隣同士の配置となっているのですが、お互に行き来できる状態には残念ながら今はなくて、分館は分館、学校は学校という風になっております。将来何かあれば一体的に使うこともできる可能性ももちろん残しているというような形ですが、今のところはしっかり分けさせていただいております。

【司会】

よろしいでしょうか。それでは続きまして、2列目の方。

【若葉町3丁目○○】

若葉町3丁目に住んでいます○○と申します。

我が家2階のロビーから、ここ40年間くらいですかね、私の子どもが小学校に行きながら、私の妻に向かって、ママ、と言って手を挙げられるような空間なんですね。今回はちょっと位置関係がつかめないんですが、今的小学校の校舎というのは南の方へ向かうんですか。運動場になるんですか。その、今的小学校の校舎を取ったあとは。

【関口施設担当課長】

新しい校舎については、中学校のグラウンドに校舎を建てて、今ある若葉小学校の校舎は完全になくなってしまうので、更地と言うか、建物のない状況になります。

【若葉町3丁目○○】

更地ということは、そこは運動場ですか。そこはグラウンドなんですか。

【関口施設担当課長】

そうですね、はい。

【若葉町3丁目○○】

運動場として考えていいわけですね。

【関口施設担当課長】

そうですね。そこを中学生が使うような形になるということです。

【若葉町3丁目○○】

分かりました。それが聞きたかった。

今ちょっと、先ほどから話題になっていますけど、小学校と中学校の間の行

き来が、真横を市道が横切っていますね。今後、やっぱり陸橋みたいなのは、計画にもあったかのような話もありましたけど、ぜひそれを造っていただきたいですね。子ども達は健脚ですから、タタタタって階段を上がって2階からタタ一っと小学校行ったり中学校行ったり運動場行ったり、そういうことができる歩道橋みたいなのを、ちょっとね、うまく造っていただく。予算の問題もあるでしょうけど、そうすると交通の心配しなくてよいじゃないですかね。

それから100人単位で移動しますからね、毎日。今まで一応、小学校は小学校、中学校は中学校で基本完結的に施設の中でよかったですけど、公用になるところがでてくると思うんです。これから。そうすると100人単位の子ども達が、たとえ狭いとはいえ、車の通る道を動くわけですよ。そうだとしたら、上履きのまま、そのまま中学校・小学校、教員室へ行ったり、そういうこともできるような経路を空中につくってください。土地はいりません。工事費だけです。それをひとつ考えていただきたい。以上です。

【森木副主幹】

ありがとうございます。今の陸橋等に関しましては今後検討させてください。以上です。

【司会】

続きまして、一番後ろの真ん中の方。

【若葉町3丁目○○】

若葉町3丁目の住民です。工事の件とデザインの件でいくつかお伺いしたいんですけど。

さつき、工事時間が8時から18時という話でしたが、工事関係の車両とかは前後、8時前から18時以降に出入りがあるという意味でしょうか。それとも、8時にその車が到着するような感じなのかそこをお伺いしたいのと、工事は平日だけでしょうか、土日祝・正月・お盆休みもされるのでしょうか。

それから、さつき地図がありましたが、工事車両が入ってくるルートというのは決められるんでしょうか。多分、大きな通り、松原通りから入ってくるんだろうなとは想像しますが、そこから入ってくるのもいくつかあると思うし。

あとは武者小路実篤記念館の方から工事車両が入ってくる可能性があるのかどうか、そのあたりを知りたいです。工事についてはそんな感じです。

あと、デザインについてですが、今日初めて道路から校舎まで20メートルあるという話を聞きましたけれども、さつきも別の方から質問がありましたが、ここからここが何メートル、高さが何メートルだとかいうのをもうちょつ

とホームページなりに公開していただきたいです。住民からするとどういった形になるかイメージが湧きにくいのでお願いします。

それから、図書館の前の駐車場が見えたんですが、さっきの写真で。あれは学校関係の方の駐車場なのか、それとも図書館に来られた一般の方が停められる駐車場なのかを教えてください。以上です。

【事業者（青木あすなろ）】

それでは、初めに工事に関する質問から回答したいと思います。8時から18時ということで、基本的に工事の作業が8時から18時までと、後片付け含めて18時までに終わりという予定をしております。ただですね、8時から工事を始めるためにはその前に作業員が現場に入らなければなりません。一方で、通学時間帯の7時30分から児童・生徒の通学が始まるお聞きしておりますので、7時30分前に作業員の車両は現場に入場するということを徹底いたします。

また、毎日ではないですけれども、大きな物資の搬入、特殊な大型作業車の搬入につきましても7時30分前に搬入することがあるかと思います。そのほかは、通学が終わったあと、だいたい午前9時位から大型車両の搬出が始まると考えていただければと思います。

続きまして、お盆・正月等の休み、建設業も働き方改革ということもございまして、基本的に土日祝日休日、お盆・正月休みも休日といたしておりますし、最初に御説明させていただいたとおり学校のテストの期間とか色々イベント等もございますので基本対応はいたしますが、昨今のゲリラ豪雨とか雨とか学校様との協議で休工となった場合には、どうしても限られた工事期間ということもありますので、その代わりとして土日、お休みの時に作業させていただくことがあるかもしれません。そこだけ御承知おきいただきたいと思っております。

最後に作業ルートですが、こちらは一方向のみしております。画面の南側に簡易的な線を描いておりますけども、都道からの一番南側の道路、この1本のみの利用と、一番下側ですね。この都道からのルートのみを利用する計画としております。

【若葉町3丁目〇〇】

そのルートですね。わかりました。

【森木副主幹】

建物の離隔と高さ等につきましては、先ほど申しましたとおり、ホームペー

ジ等で公表していきますのでよろしくお願ひいたします。

【事業者（伊藤喜三郎）】

駐車場に関しましては、先ほど写真にありましたとおり、そちらが駐車場となりますが、歩車分離を現在掲げております。図書館の前は車が入らないようにしております。ですので、あそこの入口から入っていくのですが、基本的には学校の駐車場で、図書館の利用者の方も停められる駐車場ではないです。

【司会】

それではお隣の方。

【若葉町3丁目〇〇】

若葉町3丁目の〇〇と申します。工事関係の点で、先ほど松原通りからということだったんですが、この道路は都市計画道路で、今は測量が終わって拡幅工事が始まろうとしている時で、東京都の人によると令和13年まで工事が行われるとなっているんですよ。正式には都道3・4・17号線、西つつじヶ丘から入間町までの拡幅工事、16メートルになる。そこにNTTの研修センターから子ども達が降りてくるところには陸橋がある。若葉町3丁目陸橋がある。そこがまず工事になったときとかに、拡幅工事と若葉小・第四中の改築工事が重なったりすると、当然、9時から工事車両が来るにしても大変な混雑沙汰になるし、それ以前に子ども達のほかも、大勢の人が陸橋を渡ってくるんですね。今もお母さん方や市議会の方が交通整理をしているような状況ですが。その安全をまず第一に確保する策を、工事とは関係ない話ですが、まず市としては考えていただく方がいいかなと。

それと、それに関して言えば、3年前にもこういった会が、2年か3年前にあったかと思うんですが、そこで小学校と中学校の校庭の間を結ぶ陸橋の話も出てまして、そこも検討するということになっていたんですね。スタッフの方々は違いますけども、我々は覚えていますので。それは陸橋ということはやはり必要じゃないかなと思います。大勢の生徒が渡りますので。子ども達の安全面を工事においても考えていただきたいということです。以上です。

【事業者（青木あすなろ）】

今、都道の話がございましたが、承知いたしました。都道の付近には大型車両の駐車、こちらはもちろんいたしません。また、大型車両の搬出入の時期は都道の出入口のところにも交通誘導員を配置いたしまして安全に配慮したいと思います。よろしくお願ひいたします。

【森木副主幹】

陸橋等の件については、申し訳ございません、引き続き検討させていただきますので御了承いただきたいと思います。以上です。

【司会】

それでは続きまして、水色の方。

【2丁目○○】

娘が若葉小に通ってまして、2丁目に住んでおります○○と申します。グラウンドの件と工事のことで何点か伺わせていただきたいのと、希望を言わせてください。

まず、グラウンドの件。極力確保していただけるということだったんですが、地図を見る限りそんなに期待はできないかなということを個人的には思っています。というところで、体育館を先行して完成させていただく等々で、子ども達が身体を動かすスペースの完成があるのかなと、部分的な先行工事というか、そこを優先的にやっていただきて、できたら開放していただくとかすると丸々使えない期間がなくなるのかなと。ちょっと考えてもらえると嬉しいかなということが1点。

市の事業なので心配することはないと思いますが、耐震制度とか工事中の騒音とかをきちんと守っていただければとお願いしたいと思います。以上です。

【関口施設担当課長】

まず体育館を先行して供用開始できるんじゃないかという話についてですが、現時点での想定では廊下も繋いだりするので非常に難しい状況かなと思っております。ちょっと現実的に難しいということで、今日の時点では御理解いただきたいと思います。

それから、工事期間については、約2年間を予定しておりますので、なんかこの期間で完成させたいと市と事業者側も頑張って参ります。しかし、今、資材が入らないということも発生し、実際今まで発注している工事でも遅れているものもありますので、そういう部分では先の読めない状況ではありますけれども、今は2年を想定して完成させることを目標に頑張っていきますので、御理解をいただければと思います。

【司会】

それでは続きまして、2列目の方。

【入間町1丁目〇〇】

入間町1丁目に住んでおります、若葉小学校6年と4年の保護者の〇〇です。子どもが今度中学生になります。ほぼ工事期間に被ります。今の6年生は話に聞くと、他校に進学をする希望の子が多いと聞きます。もしかしたら我が子も他校に入るか四中に入るかまだ分からぬ状況ではあるんですが、ほかの調布市立の中学校の生徒と学びの機会に差がないように配慮していただきたいと思っています。体育の授業にてもううですし、落ち着いた環境で3年間送ってほしいと切に願っているんですけれども、どうしてもこの期間に当たってしまったという状況の中、通う子ども達に何か、卒業式までには必ず完成させる、完成が遅れることないようにとか、できるだけ新しい校舎で学ぶ経験をさせて卒業させたりとか。そういうちょっとした、子ども達が愛情を感じるようにしていただきたいなと思っております。何人入るか分からぬけれども、恐らく少なくなるのかなと思っております。運動場が本当に隅の方に確保されるということですけれども、どの程度動けるのかなということもありますし、そのあたりがやはり、子どもを通うわせる親として心配です。

それと、内部の動線なんですけれども、小学生・中学生がそれぞれの教室に行き来できる設計でしょうか。動線が見えない。昇降口、これが小・中一緒の昇降口なのでしょうか。学校に入る入口は、やはり小学生1年生が中学校3年生までの9学年が通うとなると、かなり身体の差がありますし、人数も相当な人数の出入りとなります。登校時間も重なるでしょうし、そのあたりどういう風になるのかなということをイメージしにくいので御説明いただければと。

最後に、もう難しいとは思うんですけど、図書館であるとか、体育館を地域に開放する、地域の人達にも利用してもらうという話だったんですが、今は調和小のプールだけでしょうか、そういう風に開放しているのは。あそこまで行かないと、なかなか市民として利用できないプールかなと思っているので、もし、もう無理ですけどね、温水プールができる開放プールができると市民も近場で利用できたりとか、1年を通じてプールの学習ができたりとか、少し利用頻度が上がるかなと思いました。以上です。

【関口施設担当課長】

まず子ども達が入るというところで、今の6年生のお子さんたちには、これから3年間中学校に入るという状況と、若葉小学校の校庭に仮設校舎を建ててしまつたため、非常に不自由な思いをさせてしまつているということについては、教育委員会としても大変申し訳なく思つてはいる状況であります。そしてこれから3年間、第四中学校に来た子どもが工事漬けになつてしまつので我々の方としては何とか卒業式だけは新しい体育館で送り出したいという思いでやつ

ておりますので、令和10年の1月、3学期に開始できるように、我々も事業者も頑張っていく状況でありますので、子ども達に十分な環境を与えられないという状況については申し訳なく思っておりますが、何卒御理解をよろしくお願ひいたします。

内部動線についてですが、南側の方には小学生のスペース、北側が中学生のスペースになって、中学校と小学校のエリアは分かれていますけれども、基本的に行き来できる状況です。校舎と廊下を繋いで同じ階の中は行き来できる状況になっております。

今、教育の中では小・中連携教育といって、小学校から中学校にスムーズに繋げるためにそういった連携ということをやっておりますので、今回は一つの屋根の下に小学生と中学生がいますので、モデル校的にもそういった小中連携教育をやっていきたいと思っております。そういった授業展開を今後触れながらやっていきたいと思っております。

【入間町1丁目〇〇】

職員室も一緒ですか。

【関口施設担当課長】

職員室も一体です。

【入間町1丁目〇〇】

小・中、先生方が一緒。

【関口施設担当課長】

今の学校では物理的に離れているので先生同士の親交は、建物が離れている関係でなかなか難しいものもありますので、今回は職員室を一体にすることで小学校の教員と中学校の教員とがスムーズに関わり、協調できるよう職員室の方は一体化して進めていく状況であります。

それから、地域開放についてですが、既に小学校と中学校で、難しい話ではあります、一般開放と言って、広く市民の方に抽選で開放するということはやっていないんですが、学校の方に申請があれば地域の方も使えるような運営を行っておりますので、そういった形での開放事業は継続してやっていく状況でありますので、よろしくお願ひいたします。

屋内プールの設置について御要望をいただきましたが、ここは現実的には難しい、できないというお答えになってしまいます。

【入間町1丁目〇〇】

ありがとうございました。

【司会】

ありがとうございます。続きまして、後ろの白い帽子の方。

【入間町1町目〇〇】

入間町1町目の者なんですが、図書館ですけれども、床面積については、今
の図書館は2階建てですけれども、増えるんでしょうか、減るんでしょうか。

図書館の中の機能エリアというんでしょうか、蔵書数が増えるのか減るの
か、現状のままなのか。そのへんのはどうでしょうか。以上です。

【榎本係長】

面積に関しましては、今ある若葉分館から機能が、授乳室や休憩室とかが増
えていますので、そのあたりの差引きはあるのですが、既存の若葉分館よりは
若干面積が増えています。

蔵書数に関しましては、今の若葉分館と同等程度のものを満たすことが基本
として整備します。以上です。

【司会】

よろしいでしょうか。続きまして、真ん中の方。

【〇〇】

図書館若葉分館ですが、現行の建物はいつまで使えますか。以上です。

【関口施設担当課長】

令和9年度の新校舎にあわせて図書館も開始しますと、その時点で引っ越し
をします。既存の施設については、当初の予定では解体の検討でしたが、今
の時点での後利用については…

【〇〇】

後のこととは今はどうでもいいので、今の建物は令和9年度まで使えるとい
うことでいいんですね。利用者ですから、いつまで使えるかを知りたかっただけ
ですから。

【関口施設担当課長】

そのとおりです。

【司会】

規定の時間を過ぎておりますので、あとおふたりでよろしいでしょうか。
それではまだ質問されていない方、3名の方。まず左の方からどうぞ。

【入間町2丁目○○】

若葉小4年生の息子がおります、入間町2丁目に住んでいます。中学校になるのが、丁度、新設校舎建設中に入学ということになるんですが、その間に入学してすぐに仮設校舎での生活になると思うんですが、どのような仮設校舎ができる、どのような環境になるのか知りたいので教えてください。以上です。

【関口施設担当課長】

子ども達の授業環境については、今の校舎を使って授業をしますので、若葉小学校の校庭にあるような仮の建物を使って、いったんそこに間借りするということではなく、今の校舎の中で授業をします。そして、新しい建物ができた段階で引越しをして解体する状況になりますので、いったん間借りするようなことはありません。

【入間町2丁目○○】

今の校舎で授業はするということですか。

【関口施設担当課長】

そのとおりです。

【司会】

よろしいでしょうか。それでは次に真ん中の方。

【若葉町1丁目○○】

若葉町1丁目の○○と申します。

既存校舎の解体でアスベストの影響はありますか。

【森木副主幹】

既存校舎のアスベストに関しましては、これから既存校舎の建物を解体する前にアスベストの調査を一回いりますので、そちらの方でアスベストが確認された際には、法に従いまして撤去していく予定です。以上です。

【若葉町1丁目〇〇】

それは市民への情報提供はありますか。

【森木副主幹】

基本的にアスベストの処理をする場合には、周囲の方々に周知するように法律上決まっておりまますので、そちらの解体時には皆様に周知させていただく形になります。以上です。

【若葉町1丁目〇〇】

ありがとうございます。

【司会】

それでは、後ろの右の方。

【若葉町2丁目〇〇】

若葉町2丁目〇〇と申します。

図書館と小中学校の体育館を利用している者なんですが、先ほど、図書館に関してはそのまま使って、建物ができたら引継がれるということだったんですが、体育館に関して小学校・中学校はいつまで使って、引継ぎはどうなるのか教えてください。

【関口施設担当課長】

既存の体育館については、小学校も中学校も新校舎の完成まで使えます。中学校、こちらの体育館については、既に直近で改修しておりますので、こちらについてはまだしばらく残して使うような状況です。

しかし、若葉小学校の体育館については解体をして、その後グラウンドに整備します。そのため、当面の間は体育館が3つある状況になりますが、新校舎が供用開始すると新しい体育館と既存の体育館がある状況で、学校生活を展開していくことになります。

そして、どの時点での体育館を壊すかはまだ決まっていない状況です。

【若葉町2丁目〇〇】

そういうことは、小学校も中学校も体育館に関しては使えるということでおろしいですか。ありがとうございました。

【司会】

ありがとうございます。それでは最後の方。

【若葉町3丁目○○】

若葉町3丁目の住民です。

透視図、イメージ図2を映してもらいたいんですが、ちょっとデザインについて気になることがあります。

小学校に登校する門は左上の車の絵が描いてある門になりますか。全員がそこから入ってきますかということがひとつ。

もうひとつは、車の絵が描いてあるところが通学路になると思うんですが、学校の敷地の反対側にも歩道があるんですが学校側には歩道がないので、登下校の人数が多くなりますけれども、ちょっと危険な状況になるような気がします。なので、学校の方に歩道を設置してもらったほうが安全なんじゃないかなと思いました。以上です。

【関口施設担当課長】

子ども達の登下校の動線としては、南側の1箇所と北側の今の中学校の裏門があるあたりを想定して、この2方向から真ん中の昇降口に進むような登下校の動線を予定しております。

【若葉町3丁目○○】

道路に子ども達があふれて危ないんじゃないかなと思います。

【若葉町3丁目○○】

さっき私が言いましたよね。公園の前が正門になるんでしょ。あそこの道路ってすごく狭いんですよ。だから皆さん心配されているんですよ。

【事業者（伊藤喜三郎）】

はい、私の方から説明させていただきます。今、赤い丸でぐるぐるっと囲っている部分が、歩道がない状況のところなので、こちらは学校の敷地の方に歩道をつくって、そこを入口のところまで伸ばすという計画にしようと思っております。

【若葉町3丁目○○】

それは、歩道を入れて20メートルセットバックですか。歩道を入れないで20メートルセットバック。

【事業者（伊藤喜三郎）】

20メートルというのは、学校の建物から民地の建物までのところが20メートルです。歩道と道路を入れてです。

【若葉町3丁目〇〇】

歩道も入れてね。分かりました。

【司会】

それでは、以上で御質問はよろしいでしょうか。

それでは、以上を持ちまして事業概要説明会を閉会させていただきます。本日は、長時間に渡り御参加いただき、また貴重な御意見をいただきまして誠にありがとうございました。

お忘れ物が無いよう御注意いただき、お気をつけてお帰り下さい。本日はありがとうございました。